



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会
育成連合協議会
発行者 中山 良明
令和元年6月20日

発行所：大阪府中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906

惜しくも入賞はかきませんでしたが、参加された団体の技量は、甲乙つけがたいほどの演技、演奏でした。



平成三十一年三月三日、阿倍野区民センターで第三十六回子ども文化祭が行われました。
開会の言葉、そして鼓笛隊第五分隊（東住吉区）と第六分隊（住吉区）の合同隊のオープニング演奏で始まりしました。今回も九団体が演技を競い合いました。

第三十六回 子ども文化祭 開催



最優秀賞
福島区
吉野・新家子ども会

優秀賞

鶴見区 横堤子ども会育成連合協議会



優秀賞

住之江区 加賀屋校下連合子ども会





♥ 各区子ども会活動報告 ♥

西 区

西区民たこあげ大会

西区区子連会長 菅野 幸一

新春恒例の西区民たこあげ大会を、一月二十日日曜日に松島少年広場において開催しました。残念ながら当日は断続的に雨が降り続き、たこをあげるにはかなり厳しい状況となりました。運営側として今回、開催するのか、中止にするのか非常に悩みましたが、区子連をはじめ青少年五団体の仲間たちと力を合わせて、ご来場いただいた方々のためになんとか開催にこぎつけることができました。



この雨の中、三百名を超える多くの皆様にご来場いただきました。

更生保護女性会の皆様による、名物の豚汁をはじめ、うどん、ぜんざい、ミルクせんべい、フランク、ポテトなど、皆様に楽しんでいただきました。

この様に西区では、地域団体皆さんと一緒に力を合わせ、地域の子どもの健やかな成長を日々願い活動しています。



大 正 区

広報 倉 高子

今までの紙面で区子連の行事は一通り紹介をしましたので、今回からは各地域の子ども会の特徴のある人や行事などを紹介していきます。



第一弾は、中泉尾子ども会です。

現在の区子連会長の北村俊旺さんのお膝元です。

北村さんはキックベースボール部の監督を長年務められていることもあり、部員を中心としたチームを結成して、交通安全子供自転車大阪府大会に出場、平成二十九年・三十年と優勝しました。

この大会は全日本交通安全協会が主催し毎年八月に東京で全国大会を開催し今年度で第五十三回をむかえます。競技は、交通ルールや自転車の安全走行にまつわる筆記試験と、自転車の実技試験があります。

中泉尾チームは、週四回の実技練習と筆記試験の勉強を行いました。

チーム競技なので、仲間との絆が重要です。キックベースボールで培ったスポーツ精神とチームワークが役に

立つて成果が出たと感じています。

参加児童は、「緊張したけど全力が出せて良かった。キックベースなどでも全力を出していきたい」と言い、引率の北村さんは「素晴らしい子どもたちに感謝です」と述べています。

このように、子ども会での活動が他の様々な事に良い成果が表れる見本ではないでしょうか。

都 島 区

都島区こども会育成連合協議会では、ソフトボール・キックベースボール・ドッジボールの大会があります。

淀川連合はドッジボール大会で、春は男子が優勝・女子が準優勝・総合優勝。秋は男女共に優勝で総合優勝という輝かしい成績でした。

スポーツの他にも、地域のお祭り、神社のお祭りでは枕太鼓を叩いたり稚児行列などに参加しています。

昨年は、地域の方がハロウィンイベントを開催して下さり、子どもたちは仮装をして楽しんでいました。

子どもたちは、たくさん地域の方々に見守られながら、日々元気に過ごしています。



生野区

生野区子供会育成連合会

広報副部長 宇野 久恵

子供会を編成する校下が少なくなく、区内行事の運営には苦勞することも多くありますが、毎年「こども工作教室」や「指導者研修」生野区民まつりでの「こども広場」の開催などを継続しています。

「こども工作教室」はものづくりのまち生野区の周知もあって区内企業からの講師参加もいただいています。こどもたちが楽しく参加して沢山の体験から何か感じ得られるものがあることを願っています。

「指導者研修」は毎年『食育』に取り組んでいて、今年度はその中でもスポーツ栄養に絞り開講し、クラブチームや部活動を頑張るお子さんのいるお母さん方が熱心に受講されていました。

生野まつりの「こども広場」では手作りのゲームコーナーをきりもりしますが、順番待ちの列が途切れることなく、各コーナー担当はその場からなかなか離れられません。けれど参加したこどもたちのキラキラした顔を見ることが何より嬉しいのです。

その想いこそが私達のすべての活動の原動力です！
これからもこどもたちのために！



住吉区

「第十回ジュニアリーダー研修会」

広報副部長 上村

平成三十年八月五日 第十回ジュニアリーダー研修会を開催いたしました。

今回の活動は、野外バーベキューです。朝九時にJR我孫子町駅に集合してから活動が始まります。

まだ午前中なのに、とにかく暑い日で熱中症に気をつけながら浜寺公園から目的地の羽衣青少年センターを目指し、徒歩で移動、途中公園内の木陰で、暑さ対策のチューペットをいただき、目的地に到着しました。

現地スタッフの方から説明を受けた後、班ごとにジュニアリーダーがついて、食材のカッティング、配分を子ども

もたちが行い、火起こしに手まどいながら、みんなで準備していただくバーベキューは、暑い日にも関わらず、最高の美味しさでした。

後片付けも丁寧に行った後は、ジュニアリーダーがミニゲームをして楽しみました。

いつも思うことですが、見知らぬ子どもたちが短時間でですが班活動を通じて、交流することで連帯感が増して、本当の意味でお互いを知り合えるようになる」と改めて交流の大切さを感じました。

ジュニアリーダーをはじめ、活動に御協力いただいた皆様ありがとうございました。



阿倍野区

広報部長 田中

阿倍野区子連では毎年、年間の活動を「こども会新聞」としてまとめ区内十校の小学校に配布しています。

この一年間こどもたちが参加してくれた様々なイベント、ソフトボール、相撲、お泊まりキャンプ、みかん狩り、ドッジボール、凧上げなど思い出に残るスナップや大会の記録を記事として掲載しています。



その中でもこだわりのコラムが『あべの よもやま話』です。

阿倍野区は古くは弥生飛鳥時代から近年に至るまで語り継がれる歴史が各所に数多く点在しています。

熊野街道跡、北畠顕家（きたばたけあきいえ）の墓所などもそのひとつです。

日頃見慣れた風景の中に、今なお息づく忘れてほしくないこの地に伝承される歴史・逸話をこどもたちに伝えていきたいと思っています。

「近年の題材」

- ☆思い出の南海平野線
- ☆陰陽師 安倍晴明
- ☆阿倍野の馬車鉄道
- ☆股ヶ池 伝説

♪ 鼓笛隊だより ♪

鼓笛隊 第四分隊（都島区）

隊長 向井祐貴子

都島区東都島連合子ども会鼓笛隊として五十七年を迎えます。

当初は小学校の先生の指導で始まったと聞いております。

今日まで育てて頂いた大勢の関係者の方々の思考を大切に、これからもしっかり受け継いでいかなければと思っております。

又、練習会場となっております東都島小学校は創立七十七周年を迎えました。

振り返ってみますと、以前は子どもたちも多く、多彩な行事にも参加し、賑やかに、楽しく、和気藹々と・・・

今思うとすごく忙しく動いていた事が思い出されます。昨今の著しい環境の変化・少子化とその当時子どもたちが使っていた楽器も余っている状態です。

子どもたちは大変忙しく、他の分野にも走り回っている実情。なかなか隊員が増えないのが現状です。

又、地域も時代の流れと共に大変厳しい状況になっている事

は確かです。

その中に於いて楽しく安心して活動が出来様に常にポジティブに考え、鼓笛がやりたい子どもがいる限り周りの大人たちは力を合わせて音色が消えることのない様に、ご支援頂けます様お願い申し上げます。

・・・子どもたちの為に・・・



鼓笛隊 第五分隊（東住吉区）

隊長 雑感

隊長 前窪 一幸



私が地元鼓笛隊と関わったのはジュニアリーダーだった中学生のとき。

以後四十年余にわたって、子ども会

活動としての鼓笛隊の指導をしながら、時代の変化を感じてまいりました。

少子高齢化社会の訪れは、児童数の大幅減少にとどまらず、核家族化（古

いかな？）、レジャーの多様化などと

合わせ、子ども会に参加する「子ども

たち」がいなくなり、鼓笛隊のような

相応な人数が必要な活動が困難になっ

て、活動停止に追い込まれた鼓笛隊も

多くなりました。

他地区の鼓笛隊との合同演奏形式を

取り入れるなど、試行錯誤し続けてく

ることができました。

「鼓笛やりたい」という子どもたちがいる限り、これからも続けていこうと思っている今日この頃なのであります。



鼓笛隊 第六分隊（住吉区）

南住吉三丁目子ども会鼓笛隊

隊長 本城 和美

当隊は南住吉三丁目振興町会が母体の子ども会・鼓笛隊です。町内のみならず、周辺地域からも子どもたちが参加しています。



地元小学校の児童数は決して少なく

ないのですが、鼓笛隊の加入者は、変動はあれ年々減少傾向です。私自身

組織運営のあり方や練習・イベント発表の方法など色々と考えさせられま

した。今までは、市子連の催しや区民

つり・連合町会の催事の出演を活動の

軸としてきましたが、それも難しく

なっていました。

長年、地域の皆様に支えていた

て活動を続けてきました。仲間と共に

する鼓笛やバトンの活動が、子ども

たちの成長の手助けとなれば幸いです。

これからも地域コミュニティの場

として、活動を続けていけたらと思

います。

安全普及啓発講習会

二月十七日の日曜日に城東区の区民センター内にあるホールで各区の安全対策部長をはじめ、約百二十名の参加者により行われました。

「大人が学ぼう！スポーツ活動における子どものけが予防」をテーマに講習会を行いました。「事故の要因」と「安全教育と現状把握」を柱にグループ討議を行いました。

大阪市子連の事故状況や過去のケガの例をもとに原因や課題を洗い出し、参加者が過去の経験を出し合い予防と対策を話し合いました。

その後、各グループごとにいかにしてケガを減らすことができるかを発表しました。

当日ご参加いただきましたみなさんお疲れさまでした。



全国子ども会育成中央会議・研究大会

天候にも恵まれ二月二十三日(土)～二十四日(日)に石川県金沢市の石川県立音楽堂コンサートホールにて、全国子ども会育成中央会議・研究大会が行われました。

市子連からは全子連表彰者の都島区の向井さん、港区の仲田さんを含む七名が参加されました。

一日目は到着後開会式と表彰式が行われました。その後作家の本谷有希子さんの講演会がありました。

その後、場所をホテル金沢に移動し



受賞者を囲む会・情報交換会が催され全国の参加者との交流を深めました。

二日目は朝からホテル金沢で分科会が行われ全国の参加者と意見交換をしました。

その後音楽堂に移動し分科会の発表があり、続いて石川県の教育委員の大島淳光さんの講演会が行われ、最後に閉会式が行われ閉会となりました。

表彰された向井さん、仲田さんおめでとうございます。

参加されました方々お疲れさまでした。



指定都市子ども会育成研究協議会

平成三十年十一月二十三日(金)～二十四日(土)に名古屋市中区役所にて、第五十五回指定都市子ども会育成研究協議会が開催され、市子連からは受賞

者を含む七名が参加いたしました。

第一部では、指定都市表彰が執り行われ、東淀川区の行貝さんと住之江区の河合さんが受賞されました。

記念講演では、河村たかし名古屋市長の「日本で一番子どもを応援するマチ ナゴヤ」をテーマに、名古屋市中区で取り組んでいる、スクールカウンセラー(こころの専門家)やスクールアドバイザー(連絡調整役)・ソーシャルワーカー(福祉の専門家)・スクールポリス(元警察官)で構成される『なごや子ども応援委員会』を約八〇%の中学校に常勤配置しているとのことでした。

又、『家庭訪問型相談支援モデル事業』など親と子どもを総合的に支援する取り組みもご紹介いただき、

《子どもを一人も死なせない》

とお話する市長に胸が熱くなりました。



市子連新年互礼会



平成31年 新年互礼会
主催 大阪市子ども会育成連合協議会



中央研修会



市子連指導研修部長 徳川
平成三十一年二月九日(土)にアネッ
クスパル法円坂なにわのみやホールに
て百七名の参加者で行いました。
今年はグループ討議形式の研修で、
「今の子ども会について考える」子ど
も会活動の活性化に向けて」をテー
マに各グループごとに様々なテーマで
討論を行いました。
各グループでは、活動における成功
談や失敗談、現在の子ども会活動での
悩み事、それぞれの立場からみた子ど
も会など、各グループがテーマを定め、
それぞれ色々な立場から活発な討論が
行われていました。

当初予定していた討論時間をできる
限り延ばしてもなお討論が続く白熱し
た研修会となりました。
指導研修部会としては今回の討論か
ら得た様々な情報を参加者が持ち帰り、
子ども会活動が今以上に盛り上がり活
性化することを期待しています。
今回の研修会の内容について指導研
修部会で反省し、次年度に向けより良
い研修会を計画していきたいと思いま
す。

また、第一部では永年子ども会活動
においてご尽力された方や、活動の優
秀な団体の表彰が行われました。
受賞されました皆様本当におめでと
うございます。これからも末永く活躍
されることを期待します。

【個人表彰】

都島区	下川原義信
中央区	瀧 伸敬
港区	大森 大和
大正区	水井 良次
淀川区	石津 仁
東淀川区	松本 了
	直子



【団体表彰】

旭区	秦 眞佐美
城東区	岩井 成仁
	久美子
鶴見区	吉村 正治
	里見
住之江区	加藤三和子
港区	港晴子ども会育成会
旭区	高殿南子ども会
城東区	育成連合協議会
	子ども会



ジュニア・シニアリーダー 一泊研修会

三月十六日・十七日に信太山にて行われた一泊研修に参加しました。

小中学生の参加は今回なく、普段キャンプを運営するスタッフのみで「怒らずに研修を気持ちよく進めるには」「研修生が進んで研修に取り組むには」といったアプローチが適切かなどを話し合う会となりました。

参加した中学生・社会人スタッフ、それぞれの考えは違えど共通した意見も多く、「有意義な研修を全員で作っていくにはしりの見直しが必要」とし、従来当たり前のように使ってきたしりの見直しも行いました。

二日間という限られた時間の中で密に意見交換した内容は、今後スタッフ・指導者・保護者などと共有し夏の一泊研修で実践していく予定です。自分たちの活動を見直す良い時間となりました。



第五十六回 市子連鼓笛隊大会

此花区のこども文化センターで、第五十六回「みんなの鼓笛隊」フェスティバル秋まつりが開催されました。

各隊、様々な行事に参加し技量を発揮しています。



編集後記

平成最後のいくせいとなりました。
昭和、平成と号数を積み重ねてきましたが、
寂しい感じがします。